



ポルトガル・食文化を巡る

8月19日
開催！

「ポルトガル料理」と聞くと、どのような料理をイメージするでしょう？日本では、16世紀に伝わったカステラや天ぷらが有名です。大航海時代に最盛期を迎えたポルトガルの文化は、様々な国々の影響を受けています。ポルトガル南部には、ポルトガルを数百年に渡り支配したアラブの国から伝わった香辛料をふんだんに使った料理なども多く見られます。今回は、ポルトガルの北部から南部のいくつかの地域の食文化について紹介したいと思います。

カリナ サルダーニャ（大阪大学 言語文化研究科 言語社会専攻 助教）
2014年にポルトガル・ポルト大学修士課程修了。専門分野は言語教育。



2021年4月、
阪大外国語学部は
箕面船場に
移転しました！

【日時】2021年8月19日（木）19:00-20:00
【場所】オンライン（参加者にはリンクをお知らせします）
または みのお市民活動センター ☎ 072-720-3386
箕面市坊島4-5-20 みのおキューズモール WEST1-2F
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン開催のみとなる場合があります
【お申込み受付】2021年8月5日 朝9時より（8月16日×切）
下記のURLまたは右記のQRコードの登録フォームにて
<https://forms.office.com/r/gx3sX7fJQs>
または大阪大学外国語学部 ☎ 072-730-5013
✉ genbun-minoh-jigyo@office.osaka-u.ac.jp
※センター参加の方はお電話でお申込みください。
※17日を過ぎても連絡メール不着の場合は、担当者までお知らせください。
【参加費】無料【定員】オンライン50名・センター参加10名



👉 登録フォームはこちら
主催：大阪大学外国語学部・
みのお市民活動センター